

参考資料2

- 【凡例】
- 主な外水氾濫地区
 - 主な内水氾濫地区
 - 主な水位観測地点
 - 破堤点
 - 破堤による想定浸水範囲
 - HWL超過区間



笠掘ダム (H16後: ダム操作規則見直し治水機能向上)
【今次出水: ただし書き操作】

＜避難情報の発表＞
信濃川下流域において**30万人**規模で避難指示・勧告(新潟市、田上町、三条市、長岡市、見附市等)

仮に中ノ口川 (左岸3.2k) で決壊していたとすると、**約1,500戸**家屋浸水が想定

「カミソリ堤」区間: 堤防天端下**20cm**まで水位上昇

仮に大河津分水(右岸0.2k)で破堤していたとすると**約1万戸**家屋浸水が想定※1



過去の洪水との比較【帝石橋】

順位	洪水発生年月日	実績流量 (m ³ /s)	流域平均雨量 (mm/2日)
1	H23.7.29	3,402	388.4
2	H16.7.13	2,485	277.0
3	S53.6.26	2,250	340.8

※1 大河津分水のはん濫想定は、H23.7洪水相当規模(8,900m³/s【小千谷地点】)での計算による
(本検討は暫定の値、浸水調査によるものであり、今後の精査により変わることがあります)

平成23年7月新潟・福島豪雨における信濃川下流域の出水と被害概況

